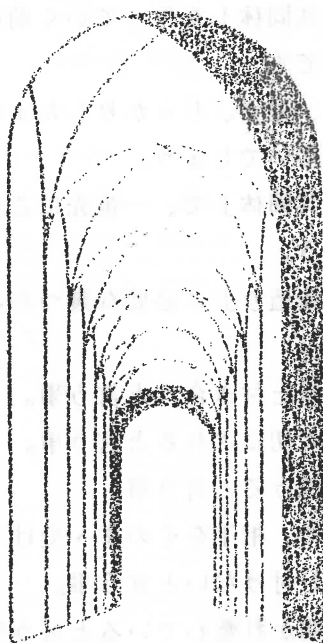


カルメル霊性センター（月刊）

2000（平成12）1月号

# 2000. 1. 霊性センターニュース 140号



『共同体作りの条件』(1)

霊性センターカルメル

断想 (144)

みことばのひびき

フォコラーレニュースより

諸所の企画についてのご紹介

詩

新刊紹介

ヘンリ・ナーウェンの『旅路の糧』(18)

お願い

〒611 京都府宇治市本幡御蔵山39-12

宇治聖テレジア修道院(黙想)

TEL 0774-32-7016

FAX 0774-32-7457

## 『共同体作りの条件』(1)

チプリアノ・ボンタッキョ

私達の共同体は「カルメルの共同体」に成長しているでしょうか。このことについて皆さんと共に反省してみることにしましょう。

まず、指摘しなければならない事は、私達の共同体が「カルメルの共同体」である前に「キリスト者の共同体」であると言う事です。「キリスト者の共同体」になっていない者は「カルメルの共同体」になれる筈がありません。更に付け加えなければならない事は、「キリスト者の共同体」を作っていく前に「人間の共同体」を作っておかなければならないと言う事です。

一つの建物に例えてみると、先ず、しっかりした土台を築かないでその上に立派な建造物を作っても長持ちはしないでしょう。

土台となるものは「人間の共同体」で、一番先にこれを築いておかなければ、その上に何を作っても無駄でしょう。

そこで、私は「人間の共同体作り」に必要な幾つかの条件をここで並べることにしました。

- 人間関係は、相手の長所と付き合うと言う事。
- 人を大切にすると人は、大切にされると言う事。
- 謙虚の心で相手の話を聞けると言う事。
- それぞれの違いを越えて、相手をそのまま受け入れると言う事。
- 自分の考えや好みを押し付けないと言う事。
- 一人のニーズに対して、開かれた心でいると言う事。
- それぞれのプライバシーを尊重すると言う事。
- 一人の欠点や弱さを話の種にしないと言う事。
- 自分の非を素直に認めて、心から謝ると言う事。
- 余計に自分を正当化しようとする傾向に警戒すると言う事。
- 共同体を破壊する力が自分の心にあると言う事を常に自覚すると言う事。

また、他にも共同体造りに必要な条件は沢山あると思います。一人一人が自分の体験から話してくれれば、きっと参考になるものは多いと思います。

主が、この私達の「カルメルの共同体」の基礎造りに導いて下さいますように。

1999. 11. 22.

(在俗者集会講話)

## 霊性センターカルメル

### 1. 聖書深読黙想会

(1)上野毛聖テレジア修道院（黙想）(2000年黙想会年間スケジュールのページを  
ごらんください)。

(2)宇治聖テレジア修道院（黙想）（2000年黙想会年間スケジュールのページを  
ごらんください)。

日時：10月21日（土）夕食18時～ 10月22日（日）昼食

指導：奥村一郎師（カルメル会士）

連絡：小林 厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

\* 申込・締切り 実施日2週間前 \* TEL.052-701-3685

(3)名古屋（比野教会）

日時：5月27日（土）～ 5月28日（日）

\*（2）、（3）についての問い合わせ… 小林厚TEL052-701-3685

4)大分聖テレジア修道院（黙想）

指導：奥村一郎師

日時：10月31日（火）夕食(18:00)～11日（木）昼食

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL.0975-41-4012

(5)聖書深読箇所（通信）原則として月の第2日曜日

(6)通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を  
組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：戸張由美子 〒163-0201東京都新宿区住友ビル 私書箱22

[註]「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。

参加者は持参下い。定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。尚、3冊以上  
注文されれば、20%引きになります。

オリエンス宗教研究所

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ.03-3322-7601

FAX.03-3325-5322

## 2. 聖書と念祷の集い

指導 星野神父 (毎月1回)

日時：1月29日(土) 3:30～

- ・場所：上野毛教会・信徒会館 26号室
- ・テキスト：神との親しさ(2)『祈りと対神徳』伊達カルメル会訳，聖母文庫 500円。上野毛教会売店にあります。
- ・急に変更になることもありますので数回ご出席になってみてその後、継続しようとお思になる方は連絡網に入っただければと思います。  
連絡網に入っらっしゃらない方は、土曜日の午前9時30分から11時30分の間に修道院の受付に 電話 をして変更がないのをたしかめてからお出かけください。 TEL. 03-3704-2171 カルメル会修道院受付 久岡
- ・その他、夏休み、冬休み、春休み などのお知らせはこの霊性センターニュースに掲載いたします。
- ・なお、この集いは前半約40分の講話と後半約45分の沈黙の祈りで構成されます。  
また、この集い終了後、5時30分から6時まで、全世界の人々の為に祈る神の民の祈り「教会の祈り」、
- ・私たち一人一人を母の愛をもって見守る聖母マリアへの祈り、「サルヴェレジーナ」
- ・主の受肉と十字架を通しての復活を賛える「お告げの祈り」、そして
- ・希望者には主御自身の御体をいただく聖体拝領が続きます。これらにもご自由にご参加ください。  
そして大都会の中のオアシスをこの修道院で探り当てましょう。

2000年 カルメル修道会東京・上野毛聖テレジア修道院（黙想）

## 黙想会年間スケジュール

### 1. 信徒と奉獻生活者のための個人指導黙想会

スタッフ 星野正道師、福田正範師（以上カルメル会）

Sr. 中川享子（ケベックカリタス会）、他

(1) 6月 1日（木）4時から10日（土）朝食

(2) 10月20日（金）4時から29日（日）朝食

全期間参加の方優先ですが二泊からの部分参加も可能。

詳しくは申込用紙を御請求ください。

### 2. 奉獻生活者のための黙想会

(1) 7月24日（月）4時から8月2日（水）朝食 福田正範師

(2) 8月11日（金）4時から20日（日）朝食 山田裕於師

(3) 12月26日（火）4時から翌年1月4日（木）朝食 福田正範師

### 3. 聖書深読黙想会：次の各土曜の夕食から日曜の16時30分まで

(1) 4月15日から16日 奥村一郎師

(2) 7月 1日から 2日 //

(3) 9月30日から10月1日 //

(4) 11月25日から26日 //

(5) 12月16日から17日 星野正道師

### 2001年

(6) 1月27日から28日 奥村一郎師

(7) 3月31日から 4月1日 星野正道師

### 4. ウェンズデイ・リトリート スタッフ：星野正道師

「キリスト教再確認」 （音楽瞑想、講話、分かち合い、ミサ、etc.）

(1) 5月17日（水）10時から16時

(2) 6月14日（水） //

(3) 7月 5日（水） //

(4) 10月11日（水） //

(5) 11月 1日（水） //

5. ウィークエンド・リトリート 新井延和師 (カルメル会)

(最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。)

(1) 4月28日(金) 20時から30日(日) 15時 「復活」

(2) 10月13日(金) // 15日(日) // 「アビラの聖テレジア」

6. 特別企画黙想会：いづれも通い可

(1) 5月 9日(火) 夕食から11日(木) 昼食 アロイジオ師

(2) 12月1日(金) 夕食から 3日(日) 昼食 チプリアノ師

(3) 2001年1月16日(火) 夕食から18日(木) 昼食 奥村一郎師

7. 大祭日のミサにあずかるために：チェックイン 午後3時から

(講話なし) チェックアウト午前10時まで

(1) 復活祭 4月22日(土) 夕食なし～23日(日) 朝食

(2) クリスマス 12月24日(日) 夕食なし～25日(月) 朝食

以上、1.から7.までの申込はカルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。

皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院 (黙想)

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355 お急ぎの場合 03-3704-2171

FAX. 03-3704-1764

8. 青年黙想会 (35歳までの男女) スタッフ：カルメル会士

(1) 5月13日(土) 16時から14日(日) 16時

希望者には5月12日(金) 20時から始まるプログラムもあります。

その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

(2) 11月 3日(祭・金) 12時、昼食から 5日(日) 16時

青年黙想会のお問い合わせ、申込はハガキかFAXで下記まで。

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25カルメル会

青年黙想会担当神学生 FAX. 03-3704-1764

# T. T. クラブ

## ～10代・20代の 青年たちの集い～

- 第32回 1月15日 (土) 「生活と祈り」
- 第33回 1月29日 (土) 「私たちと大聖年」
- 第34回 2月12日 (土) 「神の国」
- 第35回 2月26日 (土) 「私たちと教会」

カルメル会で10代・20代の青年たちの集い『T. T. クラブ』を行っています。このクラブの特徴は、教会の中のいろいろな話題を使って、お互いの話を聞く、自分の意見を話す、また伝わってくるものを感じ取る、自分の感性を表現するということを中心に置き、その中でお互いの神様からの響きを感じ取り、よりよく人々と共に生きていく可能性をさがしていければと願っております。

ぜひ、参加してみてください。わたしたちもスタッフは心からお待ちしております。

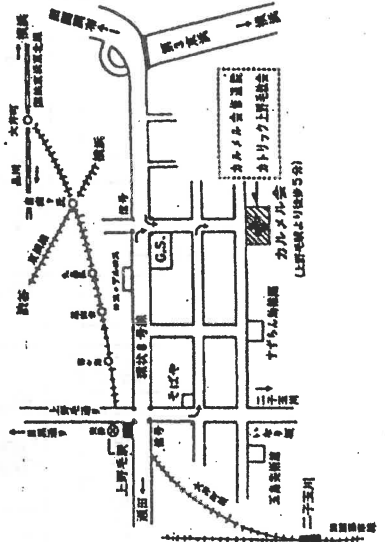
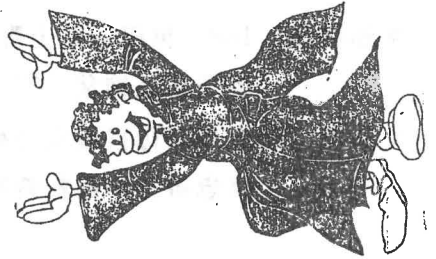
- \*時間 いずれも P.M.7:00 から P.M.9:00 まで
- \*対象 10代・20代の青年たち
- \*スタッフ カルメル会士
- \*場所 カトリック上野毛教会 信徒会館 1F
- \*プログラム
  - 7:00-7:20 はじめの集い
  - みんなで讃美歌を歌う etc.
  - 7:20-8:20 話題の解説及び分ち合い
  - 話題の説明、分ち合いを通して神の響きを確認する。
  - 8:30-8:50 祈りの時間
  - 分ち合わせたことを感謝し、祈る。
  - 9:00 解散

### カルメル修道会

T. T. クラブ 係

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL 03 (3704) 2171



# 修道生活、司祭生活を考える若者の集い

NO. 15

この修道生活、司祭生活を考える若者の集いも皆さんのご協力で小さなあゆみをつづけております。この集いは特定の修道会へのおさそいの集まりではありません。教会生活を送って行く中で今までとはちがう生き方もあるのではないか、と思っている若者がひとりぼっちでひざをかかえているのはよくない、同じように感じている仲間と出会い、ともに祈りながらあゆんで行けたら何かが見えてくるのではないか、ということで始まりました。もし君がそんなひとりだったらぜひ来て見ませんか。

\*日時 3月20日(月・祝日) 10:00 ~ 16:00、昼食は各自お持ちください。

\*対象 30才くらいまでの独身男女青年

\*スタッフ カルメル会司祭 星野正道

\*費用 1000円

\*内容 ミサ、講話、質問コーナー、個人面談等

\*持って来るもの 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

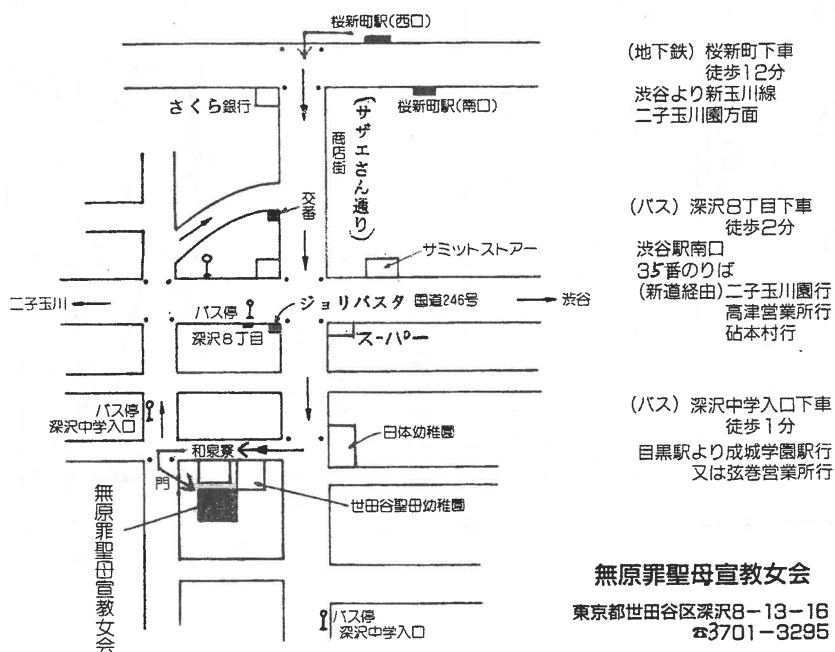
\*連絡先 158 世田谷区上野毛2の14の25 男子カルメル修道会

星野正道神父 TEL03-3704-2171 申し込みの必要はありません。

\*会場 無原罪聖母宣教女会修道院 158 世田谷区深沢8の13の16

東急新玉川線桜新町下車

TEL03-3701-3295





## 宇宙の子守歌

チビッコ広場(3)

奥村 一郎

やはり、また、新聞のなかの小話で、「神様」と題する面白い記事が目についた。

五歳の息子が、バスケットボールで「NBAの神様」と言われたマイケル・ジョーダンの引退会見をテレビで見っていた。「見て見て、神様やって。へえー、神様って見えるんや。人間みたいやなあ。でも何言ってるかわからへんから、やっぱり神様や！」と感心していた。(「いわせてもらお」欄。朝日新聞、大阪版、1999(平成11年)9月12日、日曜日 兵庫県加古川市、もちろん英語で会見していました。30歳)

前回での「物干し」の話に似て、幼な子の思考にみるみごとなまでの弾力性に驚く。張り切れるボールのように、自由に思いが飛び跳ねる。寄稿された30才のお母さんは、どのように受け取られていたのかは正確に分らないとしても、この短い記事には、バスケットボール選手の手から手に飛び回るボールのように、「神」という言葉が目まぐるしく飛び交うのを見る。チビッコ神学の可愛い兆しかも。ドンと飛躍して、大人用の神学にきりかえれば、「見えない神が見える神になって」ビックリした坊やの言葉そのものが、キリスト論でいう「受肉」を指す。また、それに、「何言っているかわからへんから、やっぱり神様や」という。これも、理屈っぽい大人の神学者など足下にも及ばないのでは・・・。



主の公現

「今日キリストは闇に輝く光として世に現れた。信仰において彼に従い、他者の光となろう。」

御公現は異邦人へのイエスの提示です。だから諸民族のお祝いです。

イエスの時代に始められたことは私たちによって現代に継続されなければなりません。イエスがすべての民族に知られるとすれば私たちの努力を通してです。御存知のようにはじめの宣教師たちは世界のさまざまな場所に行き、闇の中に輝く光としてイエスの使信を伝えました。彼らは拒否され、見捨てられ、殺されましたが信仰を捨てませんでした。

マザー・テレサの例を見ましょう。インドには彼女の病人・貧しい人たち・孤児などに対するやり方を批判する人もいます。マザー・テレサが貧困の根を攻撃しないで貧困に近づくと言うのです。しかし実際は貧しく、困っている人々に仕えることによって、彼女はイエスの愛を証ししたのです。彼女が他者の光となり、キリストから受けた信仰を分かちあったと言うことです。彼女を通してより多くの人がイエスという人を知るようになりました。私たちもまたマザー・テレサのような人間です。

現代は他者にイエスを示す人々を必要としています。惨めな状況の中で私たちの助けを求めている人々がいます。私たちは神の子イエスが人となり、私たちの内に暮らしたという「良い知らせ」を伝えなければなりません。イエスは当時のユダヤ人のためだけでなくすべての時代のすべての民族のために歴史に入ったと告げなければなりません。

イエスは地上に神の国を始めるために来ました。世を一新するために、もう悲嘆も悲しみもなく、困窮している人が冷たい他人でなく愛してくれる友人を見いだす世にするために来ました。

これが世に伝えなければならない「良い知らせ」です。御公現のお祝いの実際的な使信であり、私たちそれぞれを行ないへと呼び出す使信です。

(Beatrice)

## 主の洗礼

## 「イエスはヨハネから洗礼を受けた」

(マルコ1:7~11)

救い主であり、神の御言葉であって、罪を犯したことの無いイエスが、なぜ罪の許しを得させるためにヨハネが行っていた悔い改めの洗礼を彼から受けたのでしょうか？

マタイは、イエスが洗礼を受けに来たとき、ヨハネが思い止まらせようとして「私こそ、あなたから洗礼を受けるべきなのに、あなたが私の所に来られたのですか」と語ったと書いてあります。イエスはこれに対して、「今は止めないでほしい。正しいことをすべて行なうのは我々にふさわしいことです。」と答えています。ヨハネから洗礼を受けることは正しいことなのです。なぜそうなのでしょう。

聖パウロのガラテヤ人への手紙4:4~5がその理由を説明してくれています。「時が満ちると神はその御子を女から、しかも律法の下に生まれたものとしてお遣わしになりました」(4:4)神はイエスを最初の人アダムのように、いきなり青年から人生を始めるようにすることもできました。しかしまったく普通の人と同じように聖母マリアの胎内からこの世の生活を始めたのです。また律法の下にあるものとしてまったく普通のユダヤ人と同じようにナザレで隠れた生活を送りました。「それは律法の支配下にあるものを贖い出して、私たちを神の子となさるためでした」(4:5)。

このように主は御自分に何の例外もお求めになりませんでした。自ら進んで惨めな罪人である私たちと連帯なさいました。こういうへりくだった主に聖霊が鳩のように下り、天から「あなたは私の愛する子、私の心に適うもの」という声が聞こえました。これは公生活の最後頃に天から聞こえた声と違い(ヨハネ12:28~30)、回りにいる人々に聞かせるためではなく、イエス本人の確信を強めるためだと思えます。聖霊によってやどり、「父の家にいるのは当然だ」と12才で毅然と言えたイエスも、徹底的にへりくだって初めて御父から公生活を始めるのに必要な聖霊の恵みが下ったのです。

(新井)

## 年間第2主日

「主に結びつくものは主と一つの霊  
となる」 (Iコリント6:17)

聖パウロは人間を二つの部分に分けています。すなわち内なる人と外なる人です。「内なる人としては神の律法を喜んでいますが……」(ローマ7:22)、「どうか御父が……その霊により、力をもってあなた方の内なる人を強めて……」(エフェソ3:16)、「たとえ私たちの外なる人は衰えていくとしても、私たちの内なる人は日々新たにされていきます」(Iコリント4:16)などと書いています。

この「内なる人」が人間の中にある霊とも表現されています(Iコリント2:11)。また主のことをパウロは霊と呼んでいます(IIコリント3:17)。だから主と一つの霊となるというのは内なる人が完全にキリストの霊に満たされている状態だと言えます。こういう状態にまで達した人はどうなるのでしょうか。

詩編の69:10に「あなたの神殿に対する熱情がわたしを食いつくす」という言葉があります。主が神殿から商人たちを追い出したとき、主の様子を見て弟子たちが思い出した言葉です。この時、主は普段の優しい主ではなく、怒り狂い暴れ回っていました。神の家を思う熱情が主を食いつくして、人からどう見られるかなどという人間的な思惑はどこかに飛んでいってしまったのでしょう。

これはリジューの聖テレーズが姉のマリーに小さい道を説明する文章(自叙伝の原稿B)を送り、妹の神への情熱の激しさにマリーが圧倒されて発した言葉に似ています。「あなたは、神にとりつかれている」とマリーは言いました。自分の知っていた可愛かったテレーズの言葉とは思えず、まるで神が彼女に語らせているかのように聞こえたからです。

主に結びつくものは、主と一つの霊となり、主の愛熱の火を自分のものとし、主のもっておられる情熱に燃やされます。主は火と聖霊で洗礼を授けると洗礼者ヨハネは言いました。本当に主の愛熱の火で燃やし尽くされる人はなんと幸いなのでしょう。

(新井)

## 年間第3主日

## 生活を改め良い知らせを信じなさい

小さいときからリンドは反抗的な子供でした。自分の周りの人々が嫌い  
で、両親も兄弟も姉妹も嫌いでした。リンドは本と読書に浸ることによっ  
て残酷な世界からの逃避を求め、その結果大学に入りました。

大学で彼女は優秀な学生、学者として知られるようになりました。しか  
し他の学生に合わせてつきあっていくのではなく、ヨーロッパ社会の底辺の  
人々とつきあうようになりました。ドラッグ常習者、アルコール依存症の  
人々、売春婦などです。

こういう分裂した生活を送っているとき、彼女はヨガをやる気にな  
りました。ヨガの瞑想の一つとして、主の祈りをマントラとして用いま  
した。マントラとは一連の音節または単語をヨガをしながら何度も何度も  
繰り返すことです。

ゆっくりと主の祈りの意味が彼女の中にしみこみ始めました。そしてキ  
リスト教に関するものを手当たり次第に読み始めました。読めば読むほど彼  
女はイエスに魅きつけられていきました。

リンドは子供の時に両親によって洗礼を受けていました。しかし本当の  
キリスト教信仰の表現だと言うよりも家の伝統だったのではないかと考え  
ました。

そこで26才の時、リンドは洗礼を受けました。この時、経験したこと  
を話し、それまでの人生の告白を司祭にしようという決心もしました。

彼女はアルコール中毒、性の逸脱、中絶、誰をも愛せないことなどを司  
祭に話しました。

告解が終わったとき、彼女は別人になっていました。イエスは罪を許し  
ただけでなく、告解の間に彼女の深いところに触れたのです。そのときか  
ら彼女は新しく造られたものとして歩み始めたのです。

リンドのように、イエスは私たちの人生を新しくするよう招いています。  
人生においてわたしたちへの呼びかけはいつもはっきりしたものと限らな  
いでしょう。しかし失敗してしまったとき、信仰と痛悔の中で答えるべき  
なのです。

(Beatrice)

## 年間第4主日

「この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聞く」

(マルコ1:27)

今日の箇所はイエスがカファルナウムの会堂で汚れた霊にとりつかれた男から汚れた霊を追い出した場面です。4福音書のうちでマルコ福音書が最初に書かれたと考えられていますから、マルコはイエスの生涯を語る上で何から書き始めるかじっくりと考え、祈ったはずで、この箇所がマルコ福音書では最初の奇跡であり、イエスが救い主として初めて力を現した時です。マルコはイエスの悪魔払いに特別な意味を見たのです。それはイエスの教えが「権威ある新しい教えだ」と何よりもまず示したかったからでしょう。

イエスにおいては行ないと言葉が分かちがたく結びついています。神が「光あれ」とおっしゃると光があったように、イエスが「この人から出ていけ」と言うと汚れた霊がその人から出ていきました。「黙れ」という命令は悪霊に対してだけでなく、4:39では嵐に対して言われており、主の言葉によって嵐は止みました。神の言葉は生きていて力があるのです（ヘブライ人への手紙4:12）。当時の律法学者たちは高名なラビの解釈を引いて権威としていましたから、自分自身に権威があるイエスの教えに驚いたのも無理はありません。

イエスは良い羊飼いであり、私たちは羊です。良い羊飼いは羊を守って動物と戦います。ダビデはライオンも熊も倒しました。ダビデから千年たったイエスの時代、羊飼いの最大の敵は狼だったようです。しかし霊的な羊飼いであるイエスの最大の敵は血肉でなく、悪の諸霊でした（エフェソ6:12参照）。イエスの公生活の初めに悪霊に対する勝利があり、公生活の終わりに十字架と復活によってさらに決定的な悪霊に対する勝利があります。私たちは悪霊に勝利したキリストの力をもって現実に立ち向かうのです。この世には今も悪の力が働いています。しかし私たちはキリストにおいてすでに勝利しているのです。悪は愛そのものであるキリストの前では何の力もありません。キリストの愛を身に帯びて信仰の道を歩みたいものです。

(新井)

## 全能の御父を信じて

(ルカ1・37)

神にできないことは何一つない。

天使のお告げがあった時、マリアは、お尋ねになりました。「どうしてそのようなことがありましょうか」(注1)と。これに対して、天使は「神にできないことは何一つない」と答え、その裏付けとしてエリザベトの例をあげ、彼女が年を取っているにもかかわらず、男の子を身ごもったことを伝えます。マリアは天使の言葉を信じ、主の母とられました。

神様は全能でおられます。「全能なる神」という表現は、聖書の中に数多く見られ、神様が祝福を与え、裁きを行い、さまざまな出来事を導かれ、ご計画を成就されるにあたって示される力を、表現するために用いられました。

ただし、神様の全能をさえぎるものが、一つだけあります。それは「人間の自由」です。人は本来、神様の力にあずかって生きるよう招かれています。自由に神様の御心に反することもできるからです。それにより人は、無力な存在になってしまいます。

神にできないことは何一つない。

二千年の大聖年を前にして、今年は、カトリック教会では「御父の年」とされていますが、今月のみ言葉は、この年を締めくくるにふさわしいものと言えるでしょう。父である神様の愛に限りない信頼を置くよう、このみ言葉は、私たちを招いているからです。確かに、神様が愛でおられるなら、その神様を全面的に信頼するのは当然のことでしょう。

神様はあらゆる恵みをお与えになることができます。地上の生活のために必要な恵みや霊的な恵み、実現可能なことも、不可能に思えることもです。神様は、求める人に恵みをお与えになりますが、求めない人にも与えてくださいます。天の父は「悪人にも善人にも太陽を昇らせ」(注2)と、と福音に記されているとおりです。神様は、私たちもご自分と同じように生きることを望んでおられます。「神にでき

ないことは何一つない」という信仰に支えられて、神様のようにすべての人を愛しながら生きることです。

では、このみ言葉を日々の生活の中で生きるには、どうすればいいでしょうか。

私たちのだれもが、自分の生活や、他の人とのかかわりの中で、難しく苦しみに満ちた状況に直面する場合があります。そして、自分の無力さを痛感することがあります。自分の中に、物や人への執着があって、本当はそれから自由になりたいのに、すっかり縛られている自分に気がつくからです。また、人々の無関心や利己主義の壁に出会ったり、自分の力をはるかに越えるような出来事を前にして、ひどく気を落としてしまうことも、よくあります。

このような時、今月の「いのちの言葉」が、私たちに助けの手を差し伸べてくれるでしょう。イエスは、私たちが自分の無力さを経験するまににされますが、それは、私たちを落胆させるためではないのです。私たちが「神にできないことは何一つない」ということをもっとよく理解するためです。神様の恵みが持つ特別な力を経験できるようにと、イエスは私たちを準備してくださるのです。私たちが、自分の乏しい力ではできないのだ、と気づく時にはじめて、神様の恵みは表れるからです。

### 神にできないことは何一つない。

難しいことがある時、このみ言葉を繰り返し言ってみましょう。み言葉の持つ力が私たちに与えられ、何らかの形で私たちも、神様の全能にあずかることができるでしょう。ただし、そのためには一つ条件があります。私たちの心に注がれた神様の愛を、周りの人にもたらしながら、神様のみ旨を生きることです。こうして、被造物に対する神様の「全能の愛」と、私たちは一つになります。この神様の愛によって、不可能なことは何もありません。私たち一人ひとりや人類に対する神様のご計画が実現するのに役立つことならば、すべてが可能で。

また、今月のみ言葉を生き、その素晴らしい実りを経験するための特別な時があります。祈りの時です。

イエスは、ご自分の名において御父に願うならば、「どんな願いごとであれ」、御父はかなえてくださる、と言われました。ですから、御父にはすべてが可能だ、という確信を持って、私たちが心にかけていることを、御父に願いましょう。絶望



的な状況が解決すること、世界に平和が訪れること、重い病気が治ること、家庭や社会の中で争いがなくなることなども願うことができるでしょう。

また、私たちが互いに愛し合い、本当に心をつ一つにして、同じことを共に願うなら、私たちの間におられるイエスご自身が、御父に祈ってくださいます。そして、イエスが約束されたように、その願いは、聞き入れられるでしょう。

ある日のことですが、私たちも、神様の全能とその愛に信頼して、Nさんという人のために祈ったことがあります。その人は、レントゲン検査の結果、腫瘍があると診断されたのですが、これが何かの間違いで、まぼろしのように「消え去る」ことを私たちは願いました。そして、後で本当にそうなったのです。

このように、御父に限りない信頼を置く時、私たちは、何でもできるお父さんの腕に抱かれているように感じます。人生のあらゆる出来事の中で、私たちはいつもこのような信頼を抱くことが必要でしょう。ただし、私たちの願いがいつも聞き入れられる、というわけではありません。神様の全能は、父親としてのものだからです。子供たちがそれを知っているか否かにかかわらず、御父はいつも、子供の善になることだけに、その全能をお使いになります。大切なのは、私たちが「神様にできないことは何もない」という確信をますます強めながら生きることでしょう。そうする時、私たちは、今までに経験したことのない平和を味わうことができるでしょう。

キアラ・ルービック

注1 ルカ 1・34 参照

注2 マタイ 5・45 参照

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055

## 諸所の企画についてのご紹介

### I ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会)

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 Tel(03)3594-2247

講 師：伊従 信子 (ノートルダム・ド・ヴィ 会員)

プログラム：午後2時～午後5時半。+ミサ (日曜ミサ) 講話、祈り、お茶&質問

申し込み：電話(18:00-21:30) 又はFax(03)3594-2254。はがきで \*参加費:200円

### II スズラン・ハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。

詳細を知りたい方は、下記へ：

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

### III 風 の 家

指 導：井上 洋治 師 (東京教区司祭)

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

\*新住所 〒700-0808 岡山市大和町1-11-17

Tel・FAX 086-227-5665 詳細はお電話でお尋ね下さい。

### IV 生命山カトリック別院

〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。

お申込みは生命山別院へ

### V 瞑想の家 東 光 庵

指 導：ヨハネ・ウマンス師 (神言会) \*詳細問い合わせは電話で

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

VI リーゼンフーバー神父による研究会 (1999～2000年)

- ①キリスト教入門講座 日時：金曜日 18:45～20:30  
場所：聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール  
対象：キリスト教を学び、信仰を自分自身の問題として考えたい方どなたでも。予備知識は必要ありません。
2000. 1/7 霊の動きー福音による生き方  
1/14 聖書と教会ー信仰の基盤になる言葉  
1/21 秘跡と教会生活ー毎日を養う信仰  
1/28 神の言葉ー神との日常的な対話と黙想のしかた  
2/4 結婚と独身ー愛の道  
2/18 信徒・司祭・修道者ー誰でも召されている  
2/25 仕事という人間の課題ー社会に寄与して働く
- ②神学読書会 日時：毎月第2・第4(第5)水曜日 18:30～20:30  
場所：SJハウス第5会議室 要申込み、定期的参加  
対象：キリスト教の基本的知識を持っている20代～30代の方。
- ③聖書研究会\* 日時：毎月第1・第3水曜日 18:30～20:00  
場所：S.J.ハウス第5会議室  
内容：日曜日の聖書箇所を読んで一緒に考える。どなたでも。  
\*日時：木曜日 12:40～13:25  
場所：上智大学7号館316号研究室  
内容：新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。
- ④坐禅会 日時：月曜日 17:20～20:10 木曜日 18:00～20:30  
場所：クルトゥムハイム1階左の部屋 3回坐り、間に講話があり。  
どなたでも。遅刻、不定期参加も可。
- 接心 2000/2月26日(土)8:30～27日(日)16:00 上石神井黙想の家 5600円  
連絡先：①シスター朝山 TEL.0727-59-3742
- ⑤ミサ：水曜日 17:10～18:00 場所：上智大学内クルトゥムハイム1階右小聖堂  
⑥黙想：水曜日 18:00～18:30 場所：(同上)  
(ミサ、黙想、共に(8月を除く))
- ⑦祈りの集い：下記土曜日 13:30～16:00 場所：S.J.ハウス第5会議室  
講話、黙想、ミサがあります。  
2000年1月8日、2月19日、3月4日
- 8 アガペ会：説明会と集い・右記の 13時30～.1/22。(20代～40代の信者)  
以上、問い合わせ・連絡先：クラウド・リーゼンフーバー神父  
〒102-8571東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J.ハウス  
直通電話 03-3238-5124、5111(伝言)、FAX,03-3238-5056

Ⅶ 三位一体の聖体宣教女会 「祈りの家」

場 所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL. 042-393-3181 FAX 042-393-2407

“聖書で祈る”

申し込み先…… 佐々木

指導：雨宮 慧師（東京教区司祭） 対象：女性信徒

2000, 2月26日（土）5:30P.M.～2月27日（日）4:00P.M.

6月24日（土） “ 6月25日 “

10月28日（土） “ 10月29日 “

2001, 2月24日（土） “ 2月25日 “

召命を考える祈りの集い

指導：星野正道師（カルメル会） 対象：女子青年

2000, 2月11日（金）10:00A.M.～5:00P.M.

4月29日（土） “

7月20日（木） “

10月9日（月） “

2001, 2月12日（月） “

2000, 5月30日（火）10:00A.M.～4:00P.M. \*対象：信徒のための一黙想

大聖年・聖書に親しむ集い

\*対象：信徒

講 師：シスターマグダレナ

テーマ：2000年に向けて 御父、御子、聖霊との交わり

—秘跡を通して— 毎月最終木曜日 2:00P.M.～3:00P.M. \*7.8.12月除いて

キリスト教講座（カトリックの教えを学びたい方）毎木曜日 10:00A.M.～11:30A.M.

十字架の使徒職の集い \*洗礼による司祭職に生き、司祭のために祈る集い）

指 導：本会 会員 \*対象：信徒

期 日：第一グループ 毎月第2金曜日（2:00P.M.～3:30P.M.）

第二グループ 毎月第1木曜日（2:00P.M.～3:00P.M.）

Ⅷ マリアの御心会（明泉会）

場 所：〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2 TLE. 03-3351-0297

I. 黙想会 担当：シスター今村和子

① 聖書深読黙想会 —主日の福音を中心に—

隔月・日曜日 10:00A.M.～5:00P.M.

② 黙想と祈りの集い テゼの歌をうたいながら

③ 霊操による祈りの集い

指導：長町 裕司師（イエズス会） 毎月第3土曜日 6:00～8:00P.M.

II. ① 聖書会 …詩編を読む… 毎月第1月曜日 10:00～12:00.A.M.

② 聖通読講座 木曜日 6:30～8:30P.M.

## IX 聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax.0559-92-2120

祈りの集い（問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで！）

- 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか？

（当日黙想の家の玄関に表示します。）

黙想会のお問い合わせ・お申し込みは：165-0033東京都中野区若宮3-9-4

若宮共同体 TEL.03-3337-3291

## II X トリック内観研究会

代 表：藤原直達（大阪教区司祭）

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-10-5 カトリック浅草教会内  
TEL&FAX 03-3862-8876

\*予約相談は、まずはファックス・手紙でご連絡ください。\*予約が決まれば、さらに詳しく場所、申し込み、諸注意、など送ります。

予定表	2000.1/9 ~1/15 茅ヶ崎	4/9 ~4/15 茅ヶ崎
	1/24~1/29 関西・精華町	5/1 ~5/6 関西・精華町
	1/31~2/5 戸塚・聖母の園	5/15~5/20 戸塚・聖母園
	2/13~2/19 茅ヶ崎	6/5 ~6/10 関西会場A
	2/27~3/4 名古屋か・茅ヶ崎	6/19~6/24 茅ヶ崎
	3/12~3/18 茅ヶ崎	7/10~7/15 戸塚・聖母園
	3/19 ~3/24 沖縄	7/24~7/29 関西会場A
	3/27~4/1 関西・精華町	8/7 ~8/12 戸塚・聖母園
		8/22~8/26 関西会場A

\*原則として日・月曜日の四時から、土曜日の午前中まで

\*費用は会場によって違います

\*電話では取り次いでおりません

\*赦しの秘跡と毎日のミサがあります

## 開講座 イエスと日本人 -キリスト教の文化内開花の問題-

場 所：新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター（受付は4階）

朝日新聞の～化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204新宿区西新宿 2-6-1 TEL:03-3344-1941 私書箱22号

TEL:03-3344-1945

日 時：1/12 . 2/7 . 2/21 . 3/6 全4回

受講料：会員 10,000 一般 11,200

X I. コングレガシオン・ド・ノートルダム

係・山本 三千代

神の呼び掛けに耳を傾けてみませんか

TEL(昼間0424-82-8056)

テーマ：修道召命を考える

(夜間0424-82-2012)

日 時：平成12年月11日(金)16時から～13日(日)16時まで

対 象：20代～30代独身の女性信徒

指 導：マヌエル・ディアス神父様 (イエズス会)

参加費：4,000円(宿泊費、食事、等)

申込み：2月8日(火)まで…下記へ

場 所：〒182-0034 東京都調布市下石原3-55

TEL(0424-82-2012)

コングレガシオン・ド・ノートルダム

FAX(0424-82-2163)

京王線調布駅南口より徒歩15分

IX.

姪田 幼一

一九九七年十二月三十日

今日は雨だ。一日ゆっくり休む。菅平の報告は散文の葉書と面晤の話であらかたしてしまった。いまあのハイな気分が収まって、静かな落ち着きを取り戻している。自分の詩を読み返してみた。僕は詩の言葉を生きているな。僕の言葉は生きられた言葉だな。それが菅平での生徒たちへの応接で確かめられた。試されて初めて分かる、といった体のものだ。



# 『キリシタン 論文集 歴史・文化・言葉』

について

1970年以來、毎年2回の講演会と研究会会報の発行を続けて来た名古屋キリシタン文化研究会では、創立者の青山教授が本年南山大学を退任したのを記念し、会員有志たちでこのような記念論文集(236頁)を編集・発行致しました。

会員の中にアマチュア研究者が多いことから、外国語の史料文献を重視しているキリシタン史の専門家とは違う角度からキリシタン史を研究する会員が多く、特色あるその研究は、既にこれまでに、全国各地の研究者の注目を浴びて来ました。そこでこの度、これまでの研究の一端をこのような形でまとめ、従来のキリシタン史では扱われることの少なかった側面の研究を、少しでも補足したいと希望した次第です。

学生や若いアマチュア研究者たちの便宜を考慮し、頒価は3千円に抑えてありますが、在野アカデミズムとでも言うべき理念に貫かれているその研究内容については、専門研究者の批判にも十分耐え得るものと、密かに自負しています。興味をお持ちの方は、どうぞ購読して下さい、お勧め致します。

なお、20数年前に愛知県で発見され現存する江戸時代の根元記系排耶書の種本ではなかったかと思われる『耶穌宗門根元記』(京 篤二郎編著、名古屋キリシタン文化研究会 1994年発行、計104頁)も、残部を頒価2千円でお頒けできるそうです。ご希望の方は下記の所へお申し込み下さい。

名古屋キリシタン文化研究会会員有志  
代表 安達隆一

〒466-0823 名古屋市昭和区八雲町70 神言神学院 青山 玄  
どちらも送料無料。但し、根元記は残部僅少。送金は、本と同封する郵便振替用紙で。

# 目 次

- 青山玄教授退任記念論文集発刊の辞 安達 隆一
- 青山玄教授の略歴と業績
- 幕末維新期のキリシタン教書 清水 紘一
- 日本二十六聖人の聖レオ茨木（烏丸）  
—特に茨木姓と出身地についての—考察— 安部 明郎
- 京極マリア夫人 渋谷 美枝子
- 尾張吉利支丹覚書 瀧 喜義
- 御嵩町で発見されたキリシタン遺物 木村 茂美
- 円空の造佛動機とキリシタン供養について 池田 勇治
- 大航海時代におけるアジア宣教活動の開始  
アンジェリーナ・ヴォルペ
- 天正遣欧使節の超大鏡 原 俊之
- 『吉利支丹宗門渡和朝根元記』（翻刻）  
『吉利支丹宗門渡和朝根元記』（解説）  
京 篤二郎、澄子
- 天理図書館蔵本『天地始之事』写本の成立過程  
—口承と変形の様相— 小島 幸枝
- 不干ハビアンと『天草平家物語』  
—テキスト・テキスト化・言語資料価値— 安達 隆一
- 私のキリシタン史研究 青山 玄



上野毛・宇治・大分  
カルメル修道会 聖テレジア修道院（黙想）

聖テレジア修道院（黙想）は、祈りの生活を体験し深めたい方のためのものです。  
黙想会・研修会・練成会などにご利用ください。個人でも団体でもご利用頂けます。  
また、皆様が企画したプログラムの黙想会もお受け致します。  
詳しいお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

Tel 03-5706-7355

携帯 090-8720-9950

Fax 03-3704-1764

- ・東急 大井町線「上野毛駅」下車 徒歩7分

〒611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

Tel 0774-32-7016

Fax 0774-32-7457

- ・京都駅より JR 奈良線「六地藏駅」下車 徒歩15分
- ・京阪バス 六地藏駅近くの「町並」バス停より御蔵山行きに乗り  
「西住宅バス停」下車 徒歩5分

〒870-1152

大分市上宗方1800-3

Tel 097-541-4012

Fax 097-541-4404

- ・JR大分駅より バス 富士見が丘 行（他）約18分  
「明礮橋」下車、橋を渡って右折



カルメル修道会

## ヘンリ・ナーウエンの『旅路の糧』⑱

### キリストによりすがること

人生は予想のできないものです。或る日、幸せであるかと思えば、翌日には悲しみに沈み、或る日、健康であるかと思えば、翌日には病気であり、或る日、金持ちであるかと思えば、翌日には貧乏になっており、或る日、生きているかと思えば、翌日には死んでいるのです。それゆえ、だれによりすがるべきなのでしょう。だれとすれば安心していられるのでしょうか。あらゆる時に、だれを信頼すべきなのでしょう。

キリスト・イエスだけです。彼は私たちの主、私たちの牧者、私たちの岩、私たちの砦（とりで）、私たちの避難所、私たちの兄弟、私たちの案内者、私たちの友だからです。彼は神のもとから来て、私たちと共におられます。彼は私たちのために死に、死者から上げられ、私たちのために神への道を開いてくださいました。そして神の右に座し、私たちを喜んで迎えてくださるのです。

パウロと共に、私たちは次のことを確信しなければなりません。「死も、命も、天使も、支配するものも、現在のもものも、未来のもものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、私たちを引き離すことはできないのです」。(ロマ 8 : 38 - 39)。

(1224)

### 死、それは新しい誕生

私たちすべての人生において、死の準備をしなければならない時がやってきます。歳をとった時、重い病にかかった時、あるいは尋常でない危険に陥った時、私たちは、どうしたらもっとよくなるか（成功するか）という問題について単純に関わってはいられないでしょう。「よくなること」が死を越えた命への移行を意味しない限り。

私たちの文化は、多くの仕方で死へと向かっている中で、その中に、私たちがよい死を準備するための創造的支えをほとんど何も見出せないほどです。たいいてい人は、私たちの唯一の望みは、この世で長生きすることだと思い込んでいます。しかしながら、死は、誕生と同様に、実に新しい命への道なのです。『コヘレトの言葉』には、こうあります。「何事にも時がある。… 生まれる時があり、死ぬ時がある」(コヘレトの言葉)。

私たちは、私たちの両親が私たちの誕生を準備したと同じような注意と心遣いをもって、私たちの死を準備すべきでしょう。

(1203)

九里 彰 (スペインより)

# 聖書に親しむ

— 日本人の心で読む —

聖書には様々な読み方があり、理解のしかたも人それぞれです。その聖書の心に触れ、学び、理解を深めていくことを目的としている深読法とは何か。通信講座でご指導いただいている、カルメル会司祭の奥村一郎神父が深読法についてお話しします。聖書に興味をお持ちの方や聖書を今までに読んだことがない方でもご参加いただけます。  
(定員80名)

▼講師 カルメル会司祭 奥村 一郎

▼日時 2000年3月13日(月) 午後1時～3時

▼場所 新宿住友ビル43階 朝日カルチャーセンター(裏面参照)

▼受講料 3,300円(税込)

▼当日持参 筆記用具、郵便振替の受領証

【申込方法】 まずお電話でご予約ください。(☎03-3344-2527)。予約番号をお伝えします。郵便局備え付けの振替用紙をご利用のうえ、次の要領で受講料をご送金ください。

◆口座番号は00150-6-87041

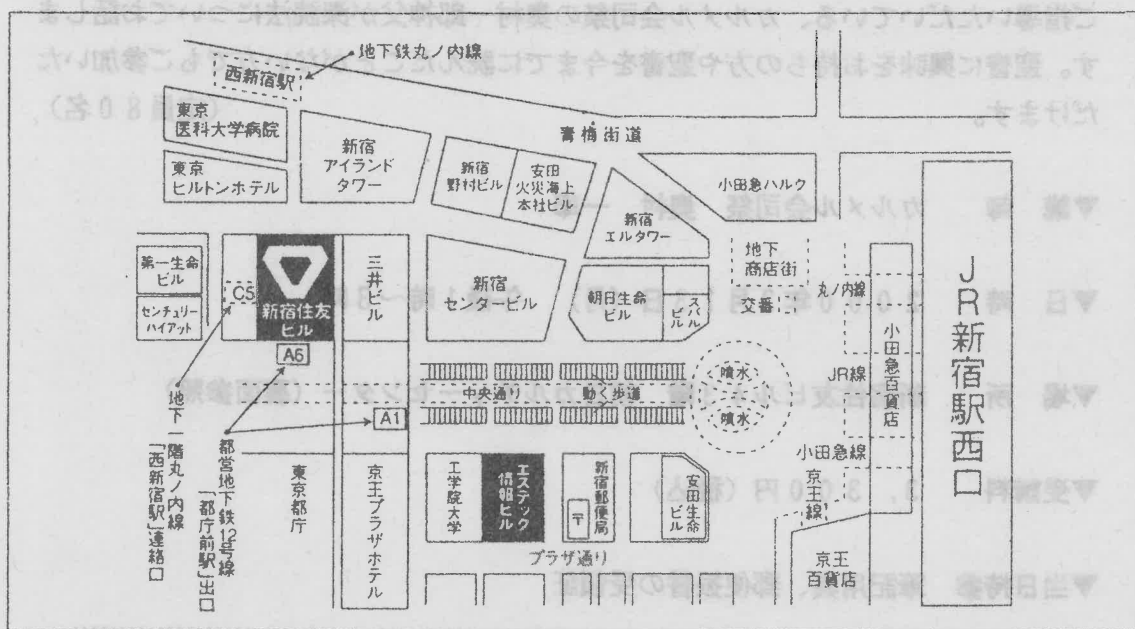
◆加入者名は朝日カルチャーセンター

◆通信欄に講座名(聖書に親しむスクーリング)と予約番号

◆払込欄にご住所、氏名とフリガナ、電話番号を記入。郵便局の受領証を受講票に代えますので、当日ご持参ください。尚、ご送金後から当日まで特別の変更がない限り、朝日カルチャーセンターから連絡を差し上げません。

講師略歴 おくむら・いちろう カトリック司祭（カルメル会）。東京大学在学中、禅仏教より改宗。卒業後にカルメル会入会のため渡仏。帰国後、主に諸宗教との対話とその交流に関与する。著書に『祈り』『友の祈り』『断想』（女子パウロ会）、『愛ゆえに生く』（中央出版）、『聖書深読法の生いたち』（オリエンズ宗教研究所）。訳書に『カルメル山登峰』（ドン・ボスコ社）など。

▼申込締め切り 電話予約は先着順でお受けします。定員になり次第、締め切らせていただきます。



お問い合わせは朝日カルチャーセンター・通信講座部へ

☎03-3344-2527

## お 原 頁 い

投稿くださるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨  
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画  
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて  
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送りください。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

- 
- ・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送ってください。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

---

### あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きてくださいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...